

のり養殖通報第14報

千葉県水産総合研究センター東京湾漁業研究所

千葉県農林水産技術会議

平成27年4月7日発行

[気象] 今後は気温平年以下に低下

- 気温は3月16日以降急上昇し以降は平年を大きく上回る日が多くなっている(図1)。
- 3月21日～4月6日の木更津観測所における降水量は13mm(平年72mm), 平均日照時間は6.5時間/日(平年5.2時間)。晴天が多く降水量は平年を下回った。
- 気象予報によると, 7日以降, 気温は平年以下に低下し, 以後は変動が激しくなると予報されている。

[海況] 植物プランクトン減少, 栄養塩は回復。

- 4月6日に実施した東京湾の観測結果では, 表層水温は半月前の値から3~4℃上昇し概ね14~15℃台。植物プランクトンは内湾北西部でやや多いが, その他の海域では減少し透明度が回復。優占種は小型の珪藻や渦鞭毛藻類で最も色落ち被害をもたらすユーカンピアの割合は増えていない。栄養塩は半月前の値より大幅に増加し, ほとんどの調査点で色落ちの心配が無いレベルまで回復している(右表)。

[今後の見込みと留意点] 栄養塩持続に期待

- 植物プランクトンが減少し栄養塩レベルは回復。ユーカンピアも増えていない。今後も曇雨天や平年を下回る気温の継続が予報されており, 栄養塩レベルの持続が期待できる。
漁期末の生産ピーク形成を目指して下さい。

本情報は東京湾海象情報システムよりダウンロードしてご覧ください。

今回は4月末に今漁期のまとめを発行します。

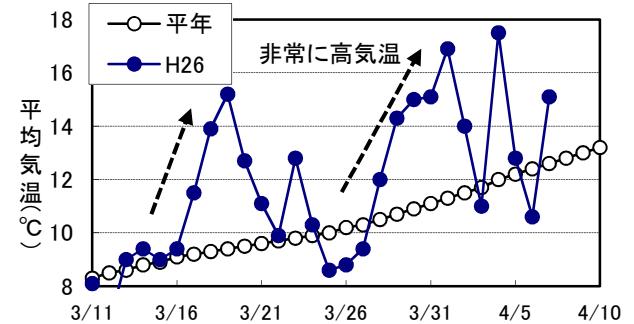


図1 日平均気温 平年との比較(千葉)

表1 水質観測結果(4/6)

	水温	塩分	pH	透明度	窒素*	リン**
船橋	15.2	31.1	8.4	5.0	367	22
盤洲Cブイ	15.0	31.7	8.4	5.9	339	11
盤洲Bブイ	15.1	32.3	8.4	4.0	279	12
盤洲Aブイ	14.3	32.4	8.3	6.3	317	10
富津ベタ	15.9	32.9	8.3	3.6	220	10
2海ほ下	14.3	32.8	8.3	5.0	176	9
大貫沖	14.2	33.6	8.3	5.0	144	12
湊沖	15.0	33.5	8.2	8.0	75	5

*溶存無機態窒素 (μg/l)、**リン酸態リン (μg/l)

※ノリの色調保持に必要な量=窒素100, リン10